

令和 7 年 2 月 12 日

令和 6 年度 第 3 回学校運営協議会 議事録

日時：令和 7 年 2 月 12 日（水）15 時 30 分～16 時 30 分

場所：大阪府立堺工科高等学校 大会議室

出席：【学校運営協議会委員】皆川委員、土井委員、西尾委員、玉城委員、村田委員、前原委員

【学校】東 《事務局》堀江、義永、小寺、安井、吉井、瀧澤、阪本、富澤、桂、濱崎、伊豆田、
真田、山本裕、大槻

議事内容：

1. 開会のあいさつ

R7 年度入学希望者数について

PR 活動への注力、企業・大学との連携を密に行う

教員の育成

企業への理解を深める研修を実施した

中学へ PR をしても、保護者まで伝わらない現状がある

2. 学校経営計画等について

・人間力の育成

基礎学力の向上

必要機材を購入しデジタルコンテンツ活用を拡大していく

生指・担任より

遅刻数 1 年：413 2 年：303 3 年：423 (10 月時点)

※システム更新により通年の数字は不明

スマートフォンによる情報モラル指導

・工業教育の充実

資格取得者 560 名、ジュニアマイスター 51 名 (昨年 90 名)

機械系製図コンクール 最優秀賞 (8 年連続)

課題研究発表 外部肯定率 100%

ワークショップをアリオ鳳にて実施

・地域連携

課題研究により地場産業との連携を実施

エコデザイン部が地元イベントにボランティアとして活動した

・教員の資質向上

製図コンクール、電気工事に関して他校教員にも研修を実施

授業見学は昨年度よりやや少なくなってしまった

3. 令和 7 年度学校経営計画（案）について

教員の残業時間

教員自身のモチベーションの維持もしながら残業時間を減らしていく
部活動指導の時間について改善が必要

4. 進路状況について

就職：一次受験合格率 93.4%

5. 令和 6 年度 広報・志願者数について

学校説明会について

本校実施の体験入学は多数集まった

入学志願者 203・6 名

進級率の低下が見られる

6. 協議

- ・ものづくりコンテストの大会を見せるなど、工業のものづくりの広報は実体験を中学生に伝えたほうがよい。
- ・企業が実施する教員向け研修では、一方向的でなく、ディスカッション形式など、双方向に話ができるとよい。
- ・資格取得については、生徒が受け身の状態で取らされているようであれば、取得率向上にはつながらないため、必要性をしっかりと教える必要がある。
- ・地域に根付いた学校であり、今後もあり続けてほしい学校である。
- ・ＩＣＴやアクティブ・ラーニングは回数にこだわるよりも、必要性に応じた実施が大切である。
- ・リカレント教育、リスキリング教育など、新たな知識の獲得や学びなおしをどのように取り入れていくか、考えていかないといけない。

7. 事務連絡

8. 閉会のあいさつ

学校経営計画について、本日の意見を検討し反映する

少子化の中でどのように本校を残していくのかが課題である